

技術委員会報告

(公社)東京都ペストコントロール協会 理事・技術委員長 谷川 力

技術委員会は本年1月に続き、4月に感染症委員会と連携でルノアール四谷店にて開催された。出席者は清水一郎新会長、元木貢技術担当副会長をはじめ、渡辺徹新感染症委員長(理事)、技術委員として小松謙之(株シー・アイ・シー)、渡邊賢太郎(株帝装化成)、伊藤弘文(株東京三洋)、佐々木健(アペックス産業株)、木村悟朗(イカリ消毒株)、感染症委員として蒲田春樹(理事)、顧問安居院宣昭先生、そして谷川が参加した(欠席者：森義行、峯岸利充)。

まず、清水会長による総会で総務・広報・害虫相談担当に泉敏夫副会長、技術・感染症・機関誌編集担当に元木副会長、渡辺徹理事・感染症委員長の就任の報告があった。次に谷川委員長より、日本衛生動物学会東日本支部長に就任、それに伴い衛生動物学会支部大会への協力のお願ひ、および厚生労働大臣表彰されたお礼の報告があった。

技術委員会の議題は、以下の通りである。

1) ホームページ「害虫相談コーナー」

①アリ(家住性)は作成を伊藤委員が担当し、22種のリストが示されたが、室内侵入、刺す、咬む、不快な5～6種に絞り、ヒアリを加えて作成すること。②木材害虫について 渡邊賢太郎委員が担当し作成すること。③トコジラミについては小松委員が担当し、ネッタイトコジラミが都内でも発見されたことから追加すること(特にネッタイトコジラミは薬剤感受性が低く、駆除がトコジラミより難しい)。④ネコの問題も苦情が多いことから渡邊徹委員

がまとめることが検討された。なお、ネコの情報については貴重な内容なので、機関誌に掲載することが提案された。

2) 重要事項説明書について

ホームページの会員のページに掲載したことが報告され、機関誌にも掲載することになった。

3) 東京港ヒアリ調査

踏査による方法をとったが、当日の天候が悪くヒアリの目撃はなかった。また他のアリも少なかった。

4) 2020年東京オリンピックについて

協会理事会でも検討したが、各区市町村にリスクアセスメント書を提案したい。また日本協会理事会でも同提案することとした。

5) 蚊防除の散布試験について

4月後半に港区の某場所を下見し、その後適正な場所であれば機器類や薬剤の仕様、蚊の調査を検討することを検討した。

6) 全国ビルメン・日本ペストコントロール協会害虫防除業中央協議会指導者講習会

「ハエ・コバエ類」の講師は佐々木委員が担当することになった。

7) 本年7月6日開催されるペストコントロールフォーラム

外来生物ヒアリについて東京大学名誉教授田付貞洋先生、ゴキブリについて小松委員、井の頭公園の自然保護について武蔵野市のNGO法人に打診することが検討された。

次回技術委員会は同じく感染症委員会と合同では6月14日(木)に開催を計画している。